

設置概要

開発学は第二次世界大戦後に独立した途上国の貧困や低開発を克服するため、工業化、近代化論にもとづく経済学から始まった。しかし、グローバル化の進展にともなう都市―農村、貧富の格差、そして紛争やテロ、さらには環境の悪化と経済成長の限界という問題の指摘から、開発のパラダイムも経済だけでなく、学際的なアプローチが求められている。本学の実践的アプローチに関するカリキュラムを俯瞰してみると、開発に関する数多くの科目が複数の学部にもたがって設置されている。そこで、本副専攻では、本学で開発を学びたい学生が開発の変遷と多様なアクターおよび、開発の今日的課題について多角的に学習できるように、①「開発とNGO」、②「紛争と平和構築」、③「開発と環境」、の3つの領域を設けた。

①「開発とNGO」では政府の開発援助の変遷と経験を学ぶだけでなく、市民社会側からのアプローチとして開発におけるNGOについて学ぶ。②「紛争と平和構築」は冷戦終結後の地域紛争やテロの増加に対して国連を中心に、問題解決を模索する、開発分野の中でも新しい領域である。学生は授業だけでなく「紛争解決実習Ⅰ～Ⅲ」などの実践科目の履修も奨励することで、世界の紛争や難民問題についてより実践的に考える力を身につけることもできる。③「開発と環境」は、今日の国際社会でSDGsが大きなテーマとなっていることからわかるように、開発を考える上で環境を考えることは必要不可欠である。したがって、地球環境というマクロ的視点から、環境人類学や地域・コミュニティや生態系といったミクロレベルの環境について視野を持つことができるように科目設置を工夫した。

到達点（学習成果）

以下の5点を到達目標とする。

- ① 開発学についての様々なアプローチや問題点を理解できる（テーマやイシューから、開発学のどの領域のどのようなアプローチを中心に論じられているのか、自分で理解・解釈できるようになる）。
- ② 日本の政府開発援助の変遷や国際協力におけるNGOの役割、開発における国家と市民社会の役割やアプローチの違いを理解できるようになる。
- ③ 今日の途上国における紛争解決に開発がどのように関連しているのか、位置づけ、理解できるようになる。
- ④ 環境問題についてマクロ・ミクロ的視点を養い、開発との関連について理解できるようになる。
- ⑤ 開発についての今日的課題を理解し、実習科目を通して問題解決方法について具体的かつ実践的に考える力を身につける。

カリキュラムマップ



履修を希望する学生へのメッセージ

なぜ途上国は貧しいのだろうか？。なぜ紛争はなくなるのだろうか？。それに対して私たちはどうしたらよいのだろうか？ということに関心がある学生は多くいるのではないのでしょうか。また、将来JICAやNGO、あるいはUNHCRなどの国際機関で働きたいけど、どうしたら良いか、実現可能なことなのだろうか、とモヤモヤしているのではないのでしょうか。開発学はそうしたみなさんのためにある副専攻です。

早稲田では開発に関する学部やコースはありませんが、学部にもたがり開発を学ぶことができる科目があります。本副専攻は学部を越えて学際的かつ総合的に学べるように設置しました。開発は第二次世界大戦後に独立した途上国の近代化（工業化）を進め、貧困をなくすために始まりました。開発とは国際社会の平和と安定だけでなく、人々の暮らしにかかわる重要なテーマです。その一方で、今日では紛争解決のための平和構築、SDGsや持続可能な開発といった観点から開発をとらえなおすことが求められます。また、開発のアクターも政府、国際機関、NGOと多様です。本副専攻で開発についての様々なアプローチを学び、開発について理解を深め、将来開発にかかわることを人生の選択肢のひとつとして考えるきっかけになってもらえると嬉しいです。ぜひチャレンジしてみてください。

指定科目一覧

修了必要単位

18単位（領域・分野a：6単位、領域・分野b：6単位、領域・分野c：6単位）以上

★領域・分野a 「開発とNGO」

修了必要単位：6単位

No	設置箇所	科目名	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	備考
1	社会学	国際NGO協力論	山田 満	3年以上	春学期	火3時限	早稲田	2	
2	社会学	国際開発制度論	利根川 佳子	3年以上	春学期	火2時限	早稲田	2	
3	社会学	開発社会論							2021年度休講
4	文構	ボランティアとNPO・NGO	林 加奈子	2年以上	春学期	月4時限	戸山	2	
5	基幹	開発協力論	関根 久雄 他	1年以上	春学期	金4時限	西早稲田	2	

★領域・分野b 「紛争と平和構築」

修了必要単位：6単位

No	設置箇所	科目名	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	備考
1	社会学	平和構築論	山田 満	3年以上	秋学期	火3時限	早稲田	2	
2	社会学	人間の安全保障論	利根川 佳子	3年以上	秋学期	火4時限	早稲田	2	
3	社会学	国際教育協力論	利根川 佳子	3年以上	春学期	火4時限	早稲田	2	
4	社会学	平和学Ⅰ	堀 芳枝	1年以上	春学期	月2時限	早稲田	2	
5	社会学	平和学Ⅱ	堀 芳枝	2年以上	秋学期	月2時限	早稲田	2	
6	社会学	Japan and Peacebuilding : UN Policies							2021年度休講
7	社会学	Education and Development	利根川 佳子	2年以上	秋学期	火2時限	早稲田	2	
8	社会学	紛争解決論実習 1							2021年度休講
9	社会学	紛争解決論実習 2							2021年度休講
10	社会学	紛争解決論実習 3	堀 芳枝 他	2年以上	春季集中	無その他	早稲田	2	
11	文構	アジアにおける人間の安全保障	金 敬黙 他	1年以上	春学期	木6時限	戸山	2	
12	文構	平和・人権論	南雲 勇多	2年以上	秋学期	月3時限	戸山	2	

★領域・分野c 「開発と環境」

修了必要単位：6単位

No	設置箇所	科目名	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	備考
1	社会学	地球環境論	赤尾 健一	2年以上	春学期	月4時限 水5時限	早稲田	4	
2	社会学	居住環境論	早田 宰	3年以上	秋学期	水3時限	早稲田	2	
4	人科	地域資源論	柏 雅之	1年以上	春学期	月3時限	所沢	2	
5	人科	環境経済学	柏 雅之	1年以上	秋学期	月3時限	所沢	2	
3	人科	ヒトと陸上生態系	平塚 基志	1年以上	春学期	木3時限	所沢	2	
6	人科	環境人類学	原 知章	1年以上	秋学期	木4時限	所沢	2	
7	GEC	環境問題と持続可能な社会	松岡 俊二	1年以上	春クォーター	木3-4	早稲田	2	